

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	高松市道の駅源平の里むれ		
指定管理者	株式会社四国にぎわいネットワーク	施設所管課等	観光交流課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	香川県高松市牟礼町原631-7	業務の概要	施設の維持管理・運営業務 ・物産棟(物販販売、産直市、食堂、産直カフェ) ・無料休憩所 ・情報センター ・駐車場
施設の概要	【施設】木造平屋 【職員の状況】正社員 5名 パート従業員 27名 【開館時間】9時～17時 【定休日】第1・3水曜日		

	項目名	令和5年度	令和4年度	項目名	令和5年度	令和4年度
利用状況等	利用者数	254,520 人	238,859 人			
収支状況等	指定管理料	9,040 千円	10,882 千円	支出実績(税込)	117,610 千円	108,872 千円
	収入実勢総額(税込)	122,864 千円	114,735 千円		千円	千円
	うち事業収入	113,824 千円	103,853 千円		千円	千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	高松市道の駅源平の里むれ条例等関係法令に基づき、施設の維持管理・運営を行った。食品衛生管理・防犯指導・防災研修・避難訓練を定期的に行うことで、従業員の意識向上を図った。また駐車場の管理においては、常識を逸脱した利用をする利用者が増え、安全管理の面で苦勞しているが、指定管理者としてできる限りの対応をしている。 環境に配慮した取組みとしては、レジ袋持参の呼びかけ、節電・節水意識の向上、ごみの分別の徹底、エコ商品の活用を行っている。	A
	②-1個人情報の保護・情報公開		
	②-2環境への配慮		
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	高松市が示す管理基準についてはその都度ご指導をいただきながら、その遂行に努めた。	B
	②平等な利用の確保		
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	施設の強みを最大に発揮し、事業の公共性は十分果たした。 固定ファンを創出できている「地ビールまつり」「七タメロン」「水戸納豆まつり」「産直アート」を今年度も開催し、地域資源をPRするような企画・新商品開発に積極的に取り組んだ。またさめき譲り登録店の認証を受けたこともあり、より一層県産の野菜・果物・花卉の販路拡大に注力した。 事業の中で、本来は行政と共に検討すべき課題(防災・防犯・福祉・6次産業化等)に対する業務負担が大きくなってきている。 相談・クレーム対しては、全て真摯に対応した。	A
	②広報・PR対策		
	③企画事業・自主事業		
	④市・関係団体・地域等との連携		
	⑤サービス向上の取組		
	⑥相談・苦情への対応		
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	継続雇用・従業員教育・スキルアップに対しては、日ごろからコツコツと積み重ねを行ってきたが、欠員分の補充はかなわず、厳しい従業員体制での運営が続いている。今年度も最低賃金が大幅に引き上げられたこともあり、大きな影響を受けている。 損害保険は施設規模に合わせた内容に継続して加入している。 収支については、原材料・商品・運送費・消耗品等の継続的な値上げに苦しんだが、人員不足による人件費抑制も影響し、黒字決算で終えることができた。	B
	②教育・研修		
	③就業規則等の遵守		
	④施設運営の健全性の確保(経営状況の確認を含む)		
	⑤損害保険等		
	⑥収支計画と執行管理		
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費	不足分の補充ができず人数的には足りない中での運営ではあったが、人件費の面では最低賃金の引き上げ幅が大きく、新人とベテラン、正社員とパート、の賃金バランスについて苦慮している。経費については、度重なる各種高騰の影響や、修繕箇所が増加、インボイス・新紙幣への対応経費(システム改修)等、想定以上の経費が必要となったが、消耗品費は割安製品を探すなどすることで、少しでもコストカットにつながるよう取り組んだ。会計制度は諸基準に基づき適正に実施している。	B
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点		
	③経営の効率化		
	④合理的な会計制度		

総合評価コメント	総合評価
施設の管理条例や関連法令各種マニュアルを遵守し、安全管理など、施設管理は適切に行われている。また、食品衛生管理・防犯指導・防災研修・避難訓練など各種研修を行い、従業員一人一人の意識の向上、管理運営に取り組んでいる。地域資源をPRするような企画・新商品開発に積極的に取り組み、県産の野菜・果物・花卉の販路拡大に注力したことは高く評価できる。施設利用者数は昨年度に比べて、少しずつ増加している。引き続き更なる経営の効率化とともに、安心安全に利用できる施設運営ができるよう今後もより一層、努力を重ねていただきたい。	B